

第14期(2019年3月期)
決算説明資料

2019年6月11日



阪神高速道路株式会社

当期連結決算の概要

当社グループの当期の連結業績は、営業収益 **2,306億円**（前年同期比+163億円）、営業損失 **4億円**（前年同期は営業利益17億円）、経常利益 **6億円**（前年同期比▲13億円）、親会社株主に帰属する当期純利益は **35億円**（前年同期比▲22億円）となりました。

当連結会計年度は、相次ぐ自然災害の影響等により営業損失を計上することとなりましたが、関連会社であった4社の連結子会社化に伴う負ののれん発生益の計上等により、当期純利益を計上しました。

事業別の業績等の概要は、次のとおりです。

高速道路事業

- ◆料金収入は1,877億円（前年同期比0.9%増）
※相次ぐ自然災害の影響等により計画額を下回りました。
- ◆道路資産完成高は347億円（前年同期比70.7%増）
- ◆道路資産賃借料は1,452億円（前年同期比2.4%増）
- ◆管理費用は441億円（前年同期比0.1%増）
- ◆この結果、
営業収益は2,232億円（前年同期比7.7%増）
営業費用は2,245億円（前年同期比8.8%増）
営業損失は12億円（前年同期は営業利益8億円）
となりました。
- ◆高速道路事業営業損失には、高速道路事業の利益剰余金を活用した、安全対策やサービス高度化に資する事業を実施したことによる損失3億円が含まれています。

受託事業

- ◆国や地方公共団体等の委託に基づく道路の新設等の事業を受託したことにより、
営業収益は19億円（前年同期比9.7%増）
営業費用は19億円（前年同期比14.7%増）
- ◆この結果、営業損失は30百万円（前年同期は営業利益49百万円）となりました。

その他の事業

- ◆休憩施設の運営、駐車場施設の運営、道路マネジメント事業等を展開したことにより、
営業収益は56億円（前年同期比5.1%増）
営業費用は48億円（前年同期比5.5%増）
- ◆この結果、営業利益は8億円（前年同期比3.2%増）となりました。

高速道路事業

単位：億円〔単位未満切捨て〕

主な増減内容

区 分		2019年3月期	2018年3月期	増減
営業収益	料金収入	1,877	1,861	+15
	道路資産完成高(注)	347	203	+143
	その他売上	7	7	+0
		2,232	2,072	+159
営業費用	道路資産賃借料	1,452	1,419	+33
	道路資産完成原価(注)	350	203	+147
	管理費用	441	441	+0
		2,245	2,064	+180
高速道路事業 営業利益		▲ 12	8	▲ 20

● 営業収益

- ・通行台数は、前年同期比0.4%増の一日当たり約76.0万台
- ・料金収入は、前年同期比15億円増の1,877億円
- ・道路資産完成高は、営業中路線の改築・修繕工事等の完成等により、前年同期比143億円増の347億円

● 営業費用

- ・協定に基づく道路資産賃借料は、前年同期比33億円増の1,452億円
- ・管理費用は、前年同期並みの441億円
- ・高速道路事業の利益剰余金を活用した、安全対策やサービス高度化に資する事業を実施したことにより、これに要した費用3億円を道路資産完成原価に計上

(注)道路資産完成高とは、完成した道路資産の高速道路機構への引渡額をいい、道路資産完成原価とは、当該道路資産の建設に要した費用をいいます。

関連事業

単位：億円〔単位未満切捨て〕

主な増減内容

区 分		2019年3月期	2018年3月期	増減
受託事業	営業収益	19	17	+ 1
	営業費用	19	17	+ 2
	営業利益	▲0	0	▲0
その他の事業	営業収益	56	54	+ 2
	営業費用	48	45	+ 2
	営業利益	8	8	+ 0
関連事業 営業利益		8	8	▲0

●受託事業

大阪府道高速大和川線に係る工事出来高の増等により、営業収益は前年同期比1億円増の19億円、営業費用は前年同期比2億円増の19億円となり、営業損失は30百万円（前年同期は営業利益49百万円）

●その他の事業

営業収益は前年同期比2億円増の56億円、営業費用は前年同期比2億円増の48億円となり、営業利益は8億円（前年同期比26百万円の増）

（注）関連事業の「その他の事業」には、休憩所等事業、駐車場事業、道路マネジメント事業等を含んでおります。

当期連結財務諸表の概要

単位：億円〔単位未満切捨て〕

連結貸借対照表			
区 分	2019年3月期	2018年3月期	増減
総資産	2,948	2,327	+620
流動資産	2,436	1,843	+592
(うち仕掛道路資産)	1,354	1,159	+194
固定資産	512	484	+27
総負債	2,421	1,844	+577
流動負債	1,013	368	+645
固定負債	1,407	1,476	▲ 68
純資産	526	483	+43
株主資本	549	508	+41
資本金	100	100	-
資本剰余金	105	100	+5
利益剰余金	343	308	+35
その他の包括利益累計額	▲ 23	▲ 30	+7
非支配株主持分	-	5	▲ 5

連結損益計算書			
区 分	2019年3月期	2018年3月期	増減
営業収益	2,306	2,142	+163
営業費用	2,310	2,125	+185
営業利益	▲ 4	17	▲ 21
営業外収益	11	2	+8
営業外費用	0	0	+0
経常利益	6	19	▲ 13
特別利益	(注) 31	66	▲ 35
特別損失	1	0	+0
税金等調整前当期純利益	36	85	▲ 49
法人税等	1	27	▲ 26
非支配株主に帰属する 当期純利益	-	0	▲ 0
親会社株主に帰属する 当期純利益	35	57	▲ 22

(注) 関連会社であった4社の連結子会社化に伴い
負ののれん発生益31億円を計上しました。

2020年3月期 連結業績の見通し

単位:億円〔単位未満切捨て〕

区 分		2020年3月期 見通し	2019年3月期 実績	増減
営業 収益	高速道路事業	4,875	2,232	+2,643
	料金収入	1,833	1,877	▲ 43
	道路資産完成高	3,040	347	+2,692
	その他売上	1	7	▲ 6
	関連事業	116	76	+40
		4,992	2,306	+2,685
営業 費用	高速道路事業	4,865	2,245	+2,620
	道路資産賃借料	1,410	1,452	▲ 42
	道路資産完成原価	3,040	350	+2,689
	管理費用	415	441	▲ 26
	関連事業	109	67	+41
		4,975	2,310	+2,664
営業 利益	高速道路事業	9	▲ 12	+22
	関連事業	7	8	▲ 0
		16	▲ 4	+21
経 常 利 益		12	6	+5
特 別 利 益		-	31	▲ 31
税金等調整前当期純利益		12	36	▲ 24
法 人 税 等		4	1	+2
親会社株主に帰属する当期純利益		8	35	▲ 27

連結業績の見通し

親会社株主に帰属する当期純利益は、親会社の利益1億円に連結子会社の利益等6億円を加えた8億円となる見通しです。

なお、連結業績の見通しのうち、親会社の見通し額は国土交通大臣から認可を受けた平成31年度(2019年度)事業計画に基づいています。

(注) 2020年3月期の業績見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

2020年3月期 個別業績の見通し

単位:億円〔単位未満切捨て〕

区 分		2020年3月期 見通し	2019年3月期 実績	増減
営業 収益	高速道路事業	4,874	2,225	+2,649
	料金収入	1,833	1,877	▲ 43
	道路資産完成高	3,040	347	+2,692
	その他売上	-	0	▲ 0
	関連事業	82	41	+41
		4,956	2,266	+2,690
営業 費用	高速道路事業	4,869	2,251	+2,617
	道路資産賃借料	1,410	1,452	▲ 42
	道路資産完成原価	3,040	350	+2,689
	管理費用	419	448	▲ 29
	関連事業	79	38	+41
		4,949	2,290	+2,658
営業 利益	高速道路事業	4	▲ 26	+31
	関連事業	2	2	+0
		7	▲ 24	+32
経 常 利 益		2	▲ 13	+16
特 別 利 益		-	0	▲ 0
税引前当期純利益		2	▲ 14	+17
法 人 税 等		1	0	+1
当 期 純 利 益		1	▲ 14	+16

個別業績の見通し

営業収益は、4,956億円
 (前年実績比2,690億円増)
 営業利益は、7億円
 (前年実績比32億円増)
 当期純利益は、1億円
 (前年実績比16億円増)
 となる見通しです。

なお、見通し額は国土交通大臣から
 認可を受けた平成31年度(2019年度)
 事業計画に基づいています。

(注) 2020年3月期の業績見通しには、
 不確定な要因を含んでおり、将来の
 業績等を保証するものではありません。
 実際の業績等については、様々な
 要因により変化するものであること
 をご承知おき下さい。

グループ経営体制

(2019年3月31日時点)



【交通管理】

阪神高速パトロール(株)

阪神高速道路(株)



【関連事業】

(休憩所・駐車場・集客施設運営等)

阪神高速サービス(株)

(事業者支援コンサルティング事業)

阪高プロジェクトサポート(株)

【保全点検・維持修繕】

阪神高速技術(株)

内外構造(株)

(株)情報技術

(株)テクノ阪神

(株)ハイウェイ管制

阪神施設調査(株)

(関連会社)

阪神施設工業(株)

【調査・設計・積算等】

阪神高速技研(株)

(株)阪神eテック

(非連結子会社)

ほんしんどほくぎじゅつしじゅんしゃんはいゆうげんこうし
阪申土木技術諮詢(上海)有限公司



【料金收受】

阪神高速トール大阪(株)

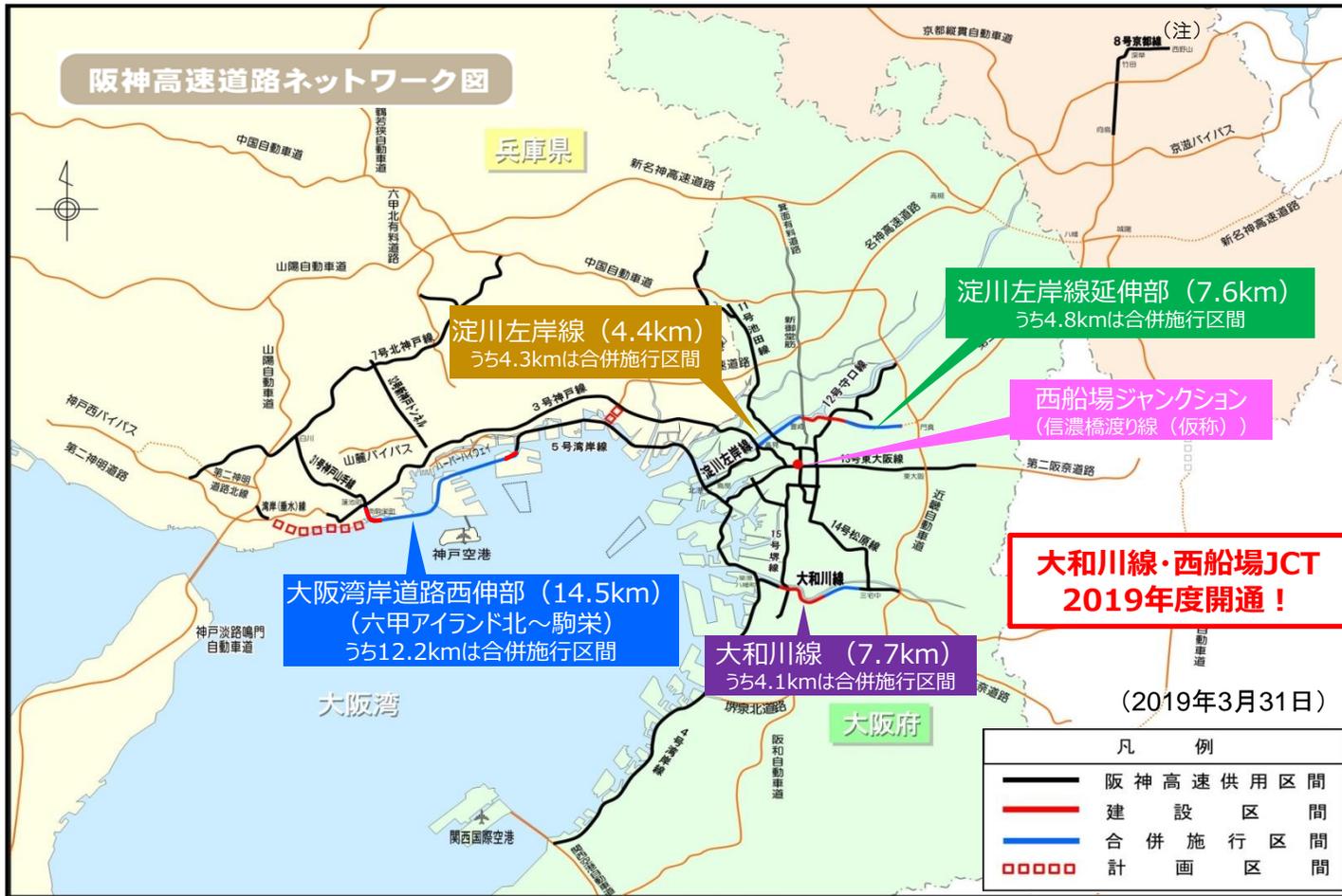
阪神高速トール神戸(株)



2018年度の主なトピックス

1. ミッシングリンク解消に向けたネットワーク整備

- * ミッシングリンクの解消に向け、大和川線（鉄砲～三宅西）、淀川左岸線（海老江JCT～豊崎）、淀川左岸線延伸部、大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）及び西船場ジャンクションの事業推進に努めました。
- * 2018年5月には、西船場ジャンクション改築事業において、**阿波座合流区間の車線増設部を開放**しました。



〔西船場ジャンクション拡幅部〕



**車線拡幅区間では、車両の合流が
しやすくなり走行がスムーズに**

(注) 阪神高速8号京都線については、高速道路を利用されるお客さまのさらなる利便性向上のため、2019年4月1日をもって京都市及び西日本高速道路株式会社に移管いたしました。

2018年度の主なトピックス

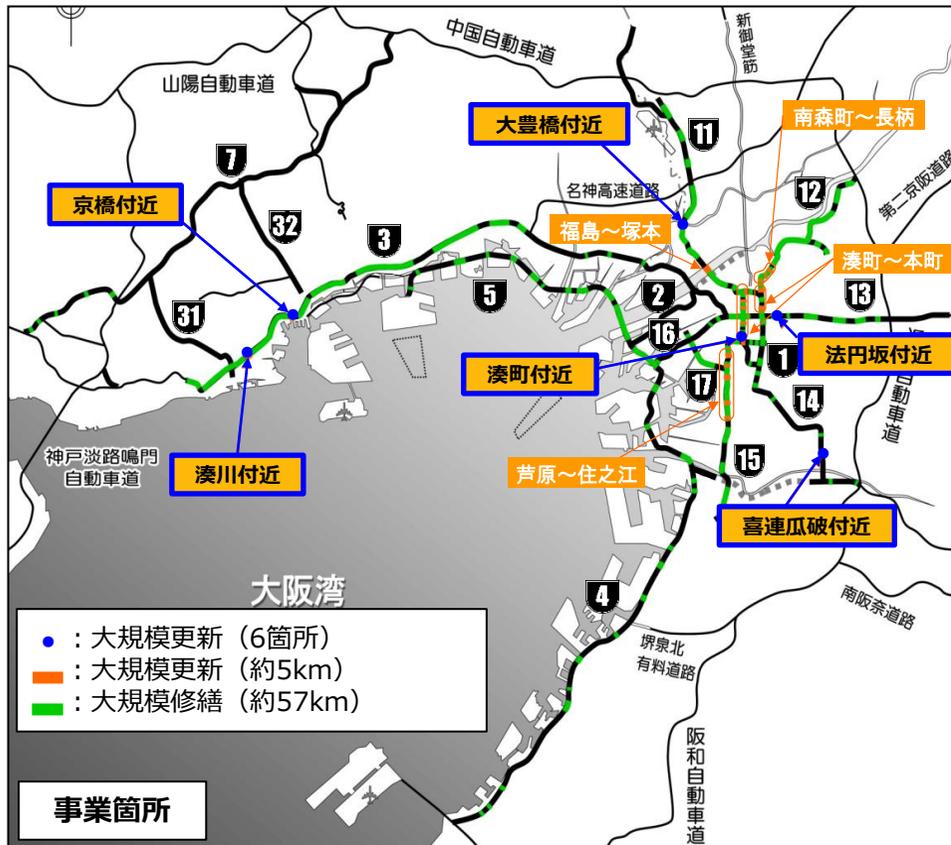
2. リニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）による長寿命化の推進

*お客さまに最高の安全と安心を提供するため、構造物の長寿命化に向けたリニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）を推進しました。

【大規模更新事業】15号堺線湊町付近及び3号神戸線湊川付近について、工事实施に向けた設計等を実施し事業を推進しました。

【大規模修繕事業】15号堺線・17号西大阪線において全線終日通行止めによるリニューアル工事を実施しました。

15号堺線 玉出入口において、老朽化等により損傷したRC床版を新しい床版に取り替える工事を実施しました。



〔玉出入口のRC床版取替 (2018年7月～11月) 〕

新工法により通行止期間を短縮



損傷したRC床版の撤去



新しいプレキャスト床版の設置

●ウォータージェットを活用した工法 (Hydro-JetRD工法) により、道路を供用したまま床版と鋼筋を分離、床版撤去のための通行止期間を半減

●工場で製作した軽量のプレキャスト床版 (UFC床版) を、狭い現場での作業効率性が高い専用架設機で設置

2018年度の主なトピックス

3. お客さま満足向上の取り組み

【「お客さま満足アッププラン」の取り組み】

*お客さまにもっと“安全・安心・快適”を実感し、ご満足いただくための様々な施策の取り組みをまとめた『お客さま満足アッププラン』を継続的に実施することで、ますますのお客さま満足の向上に努めました。

〔乗り放題パスのご提供〕



〔阪神高速Twitterの開設〕



〔パーキングエリアの充実〕

2019年3月、新たに2つのPAをオープン



【3号神戸線(東行)尼崎PA】



- 長い緑側のような芝生と壁面緑化に囲まれた穏やかなオープンスペース（長さ約150m）
- 軽飲食メニューの自販機コンビニ

【5号湾岸線(西行)南芦屋浜PA】



- 芦屋の風を爽やかに感じることのできるウッドデッキ
- 軽快感のあるテント屋根
- 軽飲食メニューの自販機コンビニ

【安全対策やサービス高度化に資する事業】

* 高速道路事業の利益剰余金を活用した、安全対策やサービス高度化に資する事業（注）を開始しました。

○2018年度事業内容 ①PAの混雑状況早期把握のため、無人PA満車表示板の設置

②事故・故障車、落下物の早期発見等のため、高速道路本線の交通流監視カメラから死角の出入路へのカメラ設置

（注）本事業に要する費用は、機構による債務引受けの対象外です。本事業により形成された道路資産は、機構に帰属するものとして取り扱われます。

2018年度の主なトピックス

4. 関連事業の展開

- ＊ 阪神高速グループにおいてこれまで培ってきた技術・ノウハウを活用し、**周辺の自動車専用道路等の一体的管理や、構造物点検、補修業務**を受託しています。
- ＊ 高架下等の道路空間や保有する資産を有効に活用し、社会のニーズに応えるため、海外事業を含む**技術・補償コンサルティング事業、駐車場事業、保有資産有効活用事業**等を積極的に展開しています。

周辺の自動車専用道路等の一体的管理受託

- ・ 大阪港咲洲トンネル・夢咲トンネル（大阪市）、第二阪奈有料道路（大阪府道路公社・奈良県道路公社※）の管理運営を受託

※ NEXCO西日本への移管により2019年3月末業務終了



大阪港咲洲・夢咲トンネル



第二阪奈有料道路

道路空間や保有する資産の有効活用

- ・ 駐車場事業：高架下等の約300箇所を月極・時間貸駐車場を展開
- ・ 保有資産有効活用事業：賃貸住宅事業や事業定期借地等を展開
2018年度は、賃貸土地の一部を合意解約してコンビニエンスストアを誘致（12月開店）、また、新たに2箇所を賃貸住宅事業を開始



リラサーレ西宮えびす前



リラサーレ甲子園高潮町

高速道路の維持管理等の技術・ノウハウを活かした事業展開

- ・ 大学管理の跨道橋やゴルフ場内の橋梁の点検業務を受注
- ・ 道路や鉄道など公共インフラの用地取得支援業務を地方公共団体等から受託

休憩所事業の展開

- ・ 有人PAでは、徹底したお客さま目線によるレストラン・売店、休憩所の改良を推進

海外事業の展開

- ・ ケニア等におけるJICA技術協力プロジェクトにコンサルタントチームの一員として参画。2018年度は新規1案件を受注
- ・ 日本においてケニア、ブータン、カンボジアの政府職員等に対して道路・橋梁維持管理及び公用地管理に関する研修を実施

◆本資料には将来の予測や見通しに関する記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績等を保証するものではありません。将来の業績等は経営環境の変化などにより、目標と異なる可能性があることにご留意下さい。

【お問い合わせ】

 阪神高速道路株式会社 経理部経理課

〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト

TEL: 06-6203-8888(代)

FAX: 06-6203-8313

URL: <https://www.hanshin-exp.co.jp>